

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート 実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
<b>Q 建築物の環境品質</b>						<b>3.0</b>
<b>Q1 室内環境</b>			<b>0.30</b>	-	-	<b>3.0</b>
<b>1 音環境</b>		<b>3.0</b>	0.38	-	-	<b>3.0</b>
1.1 騒音		-	-	-	-	
1.2 遮音		<b>3.0</b>	1.00	-	-	
1 開口部遮音性能		3.0	0.60	3.0	-	
2 界壁遮音性能		3.0	0.40	3.0	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	-	
1.3 吸音		-	-	3.0	-	
<b>2 温熱環境</b>		-	-	-	-	
2.1 室温制御		-	-	-	-	
1 室温		-	-	-	-	
2 外皮性能		-	-	3.0	-	
3 ゾーン別制御性		-	-	-	-	
2.2 湿度制御		-	-	3.0	-	
2.3 空調方式		-	-	3.0	-	
<b>3 光・視環境</b>		-	-	-	-	
3.1 昼光利用		-	-	-	-	
1 昼光率		-	-	3.0	-	
2 方位別開口		-	-	3.0	-	
3 昼光利用設備		-	-	3.0	-	
3.2 グレア対策		-	-	-	-	
1 昼光制御		-	-	3.0	-	
3.3 照度		-	-	3.0	-	
3.4 照明制御		-	-	3.0	-	
<b>4 空気質環境</b>		<b>3.0</b>	0.63	-	-	<b>3.0</b>
4.1 発生源対策		<b>3.0</b>	1.00	-	-	
1 化学汚染物質		3.0	1.00	3.0	-	
2 アスベスト対策		-	-	-	-	
4.2 換気		-	-	-	-	
1 換気量		-	-	3.0	-	
2 自然換気性能		-	-	3.0	-	
3 取り入れ外気への配慮		-	-	3.0	-	
4.3 運用管理		-	-	-	-	
1 CO <sub>2</sub> の監視		-	-	-	-	
2 喫煙の制御		-	-	-	-	
<b>Q2 サービス性能</b>			<b>0.30</b>	-	-	<b>3.2</b>
<b>1 機能性</b>		<b>3.5</b>	0.40	-	-	<b>3.5</b>
1.1 機能性・使いやすさ		-	-	-	-	
1 広さ・収納性		-	-	3.0	-	
2 高度情報通信設備対応		-	-	3.0	-	
3 バリアフリー計画		-	-	-	-	
1.2 心理性・快適性		<b>4.0</b>	0.50	-	-	
1 広さ感・景観		4.0	1.00	3.0	-	
2 リフレッシュスペース		-	-	-	-	
3 内装計画		-	-	-	-	
1.3 維持管理		<b>3.0</b>	0.50	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		3.0	1.00	-	-	
2 維持管理用機能の確保		-	-	-	-	
3 衛生管理業務		-	-	-	-	
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>3.5</b>	0.30	-	-	<b>3.5</b>
2.1 耐震・免震		<b>3.8</b>	0.50	-	-	
1 耐震性		4.0	0.80	-	-	
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		<b>3.0</b>	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	

2.4 信頼性				3.5	0.20		-	
1	空調・換気設備			-	-		-	
2	給排水・衛生設備			3.0	0.25		-	
3	電気設備			3.0	0.25		-	
4	機械・配管支持方法			5.0	0.25		-	
5	通信・情報設備			3.0	0.25		-	
3 対応性・更新性				2.8	0.30		-	2.8
3.1 空間のゆとり				3.4	0.30		-	
1	階高のゆとり			3.0	0.60		-	
2	空間の形状・自由さ			4.0	0.40		-	
3.2 荷重のゆとり				3.0	0.30		-	
3.3 設備の更新性				2.2	0.40		-	
1	空調配管の更新性			1.0	0.20		-	
2	給排水管の更新性			1.0	0.20		-	
3	電気配線の更新性			3.0	0.10		-	
4	通信配線の更新性			3.0	0.10		-	
5	設備機器の更新性			3.0	0.20		-	
6	バックアップスペースの確保			3.0	0.20		-	
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.40		-	3.0
1 生物環境の保全と創出				3.0	0.30		-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮				3.0	0.40		-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮				3.0	0.30		-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上				3.0	0.50		-	
3.2 敷地内温熱環境の向上				3.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-		-	3.6
LR1 エネルギー				-	0.40		-	4.3
1 建物外皮の熱負荷抑制				5.0	-		-	5.0
2 自然エネルギー利用				4.0	0.17		-	4.0
3 設備システムの高効率化		BEI	非住宅 0.81	住宅(専有部) 0.83	4.4	0.83	-	4.4
集合住宅以外の評価(3a.3b)				4.4	1.00		-	
集合住宅の評価(3c)					-		-	
4 効率的運用				-	-		-	-
集合住宅以外の評価				-	-		-	-
4.1 モニタリング				-	-		-	-
4.2 運用管理体制				-	-		-	-
集合住宅の評価					-		-	-
4.1 モニタリング					-		-	-
4.2 運用管理体制					-		-	-
LR2 資源・マテリアル				-	0.30		-	3.2
1 水資源保護				3.4	0.20		-	3.4
1.1 節水				3.0	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.7	0.60		-	
1 雨水利用システム導入の有無				4.0	0.70		-	
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.30		-	
2 非再生性資源の使用量削減				3.1	0.60		-	3.1
2.1 材料使用量の削減				2.0	0.11		-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.22		-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				3.0	0.22		-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		ビニル床材、タイル		3.0	0.22		-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材				-	-		-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取り組み				4.0	0.22		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.7	0.20		-	3.7
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.30		-	
3.2 フロン・ハロンの回避				4.0	0.70		-	
1 消火剤				-	-		-	
2 発泡剤(断熱材等)				5.0	0.50		-	
3 冷媒				3.0	0.50		-	
LR3 敷地外環境				-	0.30		-	3.0
1 地球温暖化への配慮				3.3	0.33		-	3.3
2 地域環境への配慮				2.9	0.33		-	2.9
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25		-	
2.2 温熱環境悪化の改善				3.0	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				2.7	0.25		-	
1 雨水排水負荷低減				3.0	0.25		-	
2 汚水処理負荷抑制				3.0	0.25		-	
3 交通負荷抑制				4.0	0.25		-	
4 廃棄物処理負荷抑制				1.0	0.25		-	
3 周辺環境への配慮				3.0	0.33		-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40		-	
1 騒音				3.0	0.33		-	
2 振動				3.0	0.33		-	
3 悪臭				3.0	0.33		-	
3.2 風害・砂塵・日照障害の抑制				3.0	0.40		-	
1 風害の抑制				3.0	0.70		-	
2 砂塵の抑制					-		-	
3 日照障害の抑制				3.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制				3.0	0.20		-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				3.0	0.70		-	
2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30		-	